

研究課題名：	筋層浸潤膀胱癌に対して放射線治療を施行した患者を対象とした観察研究
所属（診療科等）：	公立昭和病院（ 泌尿器科 ）
研究責任者（職名）：	塚本 哲郎 （ 医師 ）
研究代表者（所属）	（多機関共同研究の場合に記載）
試料・情報の提供責任者： 試料・情報の管理責任者：	公立昭和病院 院長 坂本 哲也
研究期間：	西暦 2023 年 8 月 23 日 ～ 西暦 2025 年 3 月 31 日
研究目的と意義：	筋層浸潤膀胱癌は予後不良な疾患であり、標準的治療は膀胱全摘除と尿路変向です。膀胱全摘除は侵襲の大きい手術であり、患者さんが高齢である場合や、併存疾患によっては施行できない場合があります。また膀胱全摘除を行った場合に必須となる尿路変向(特に回腸導管造設)は、ボディーイメージの変化をもたらし、患者の生活の質に影響を与えます。 従来、膀胱全摘除を行えない患者さんに対して、放射線治療や化学療法、またはその併用療法を代替治療として行ってきましたが、その有用性についての報告は少ないです。 本邦では急速に高齢化が進み、膀胱全摘除が行いにくい高齢の膀胱癌患者さんが増加しつつあります。本研究により、筋層浸潤膀胱癌に対して放射線治療を行われた患者さんを対象にその治療成績を検討することは、意義があると考えられます。 本研究は観察研究として、筋層浸潤膀胱癌に対して当院で放射線療法を受けた患者さんを対象に、患者背景と治療内容、予後を調査することを目的とします。
研究内容：	●対象となる患者さん 膀胱癌と診断され、2013 年 1 月 1 日より 2023 年 3 月 31 日までの期間に、

公立昭和病院において膀胱に放射線療法を受けた方。

●利用し、又は提供する試料・情報の項目

・研究対象者背景

研究対象者識別コード、生年月日、性別、既往歴、合併症、アレルギーの有無、

PS(ECOG)、身長、体重、血圧、脈拍、体温等

・画像診断

胸腹部造影 CT、腹部造影 MRI、骨シンチグラフィー、PET 等

・治療情報

手術所見、放射線治療、抗癌剤治療等

・臨床検査

血液学的検査(Hb, WBC 分画)、血液生化学検査(Alb, γ GTP, LDH, T-Chol, CRP

など)、腫瘍マーカー(CEA, CA19-9 など)、病理学的検査（組織診・細胞診）等

●提供する試料・情報の取得方法

対象患者さんの診療録より得られる画像データを含めた臨床情報を集計します。
この研究のために新たなデータは採取しません。

●試料・情報の利用目的及び利用方法（他機関へ提供する場合は、その方法を含む）

臨床情報を匿名化し解析します。

●利用する者の範囲（当該研究を実施する全ての共同研究機関の名称及び研究責任者の氏名）

公立昭和病院 泌尿器科

問い合わせ先：

【研究担当者】（研究全般に関すること）

1. 研究計画や研究方法に関する資料の入手・閲覧に関すること
2. 試料・情報の利用又は多機関への提供を停止する旨に関すること
3. 研究により得られた結果等に関すること

氏名：上原 翔（泌尿器科）

住所：小平市花小金井 8 丁目 1 番 1 号

電話：042（461）0052（代表） FAX：042（464）7912

【ご意見・相談窓口】（研究・診療内容に関するものは除く）

総務課 042（461）0052 内線 2247

受付時間：月～金 9:00～17:00（祝・祭日を除く）